

令和5年度静岡県庁オフィス改革業務委託公募型プロポーザル 企画提案書作成に係る補足説明資料

1 ワークショップについて

- モデル所属からメンバーを募り、5名×3チームでワークショップを開催
- チームごと、「職場の現状の課題の洗い出し」および「ありたい働き方のコンセプト案」検討を実施
- コンセプト案は、ワークショップの実施後に職員投票を実施し、モデル所属全体のコンセプトを決定

2 「職場の現状の課題の洗い出し」ワークショップ

チームごと検討し、以下のような課題が出ました。

- コミュニケーションが不足している。意志決定までのステップが多く庁内での調整に時間がかかる。業務の進め方が形式に捕らわれすぎている。
- 業務の取捨選択や優先順位付けができておらず、新しいことに挑戦しづらかったり、業務に集中しづらかったり、他部署と連携したプロジェクトがうまく進まない等の課題がある
- 庁内での調整に多くの時間がかかる、チームの目標の目線合わせが不足している、リフレッシュや気分転換がしづらいなどの課題があり、業務量が多すぎるものがその要因となっている。

3 「ありたい働き方のコンセプト案」ワークショップ

チームごと検討し、以下のようなコンセプト案が出ました。

(太字:コンセプト案、通常体:コンセプトに込めた思い)

- **メリハリのある働き方で新しいことにもチャレンジ！チーム全体で支え合える職場**
 - 業務の効率をUPさせ、ワークライフバランスの取れたメリハリのある働き方をしたい。
 - チャレンジ精神を持って業務に取り組みたい。
 - 属人的でなくチームで支え合い業務に取り組みたい
- **～時間の余裕は心の余裕～ 共通の目標に向けて一体感を持って働きたい**
 - メリハリをつけ、時間を効率的に使い、余裕を持った働き方がしたい。
 - チームプレイで取り組みたい。
 - 壁のない雰囲気と同じ目標を持って取り組みたい。
- **☆超絶☆ワクワク スマートワークヘテイクオフ!!**
 - メリハリをつけた働き方で、プライベートと仕事の両立を。
 - 仕事へのモチベーションがUPするワクワク働き方を。
 - 組織・職位などの見えない壁を取り払い、壁のない働き方を。

4 職員投票の結果

上記コンセプト案についてモデル所属で職員投票を実施し、

「～時間の余裕は心の余裕～ 共通の目標に向けて一体感を持って働きたい」がコンセプトとなりました

以上